

## 第4次中野区環境基本計画アクションプログラムの実績について

## ○昨年度からの変更点

- ①「目標」欄を「取組内容」欄に変更し、年度ごとの取組を記載しています
- ②「年度目標」欄を新設し、年度ごとの目標を記載しています
- ③「取組内容」欄をステップ1(令和3・4年度)のみの記載としています

## ○年度目標及び進捗評価の考え方について

## ①数字目標がある場合

年度目標:数字目標を記載します

進捗評価:達成割合に応じて下記の基準(数値目標の場合)に基づき評価します

## ②数値目標はなく、アクション内容を進展させる目標がある場合(例:認証取得、計画策定など)

年度目標:目標を文章で記載します

進捗評価:「進捗評価の理由・内容」に応じて、下記の基準(数値目標以外の場合)に基づき評価します

## ③アクション内容または取組内容の記載を継続して実施する事業(例:普及啓発、適正な管理など)

年度目標:原則記載しません ※表記を「-」で統一します

進捗評価:「進捗評価の理由・内容」が「取組内容」のとおり実施されたかどうかで判断します

## ○評価方法

進捗評価	数値目標の場合	数値目標以外の場合
A	80～100%	ほぼ達成できた
B	50～79%	おおむね達成できた
C	20～49%	やや不十分である
D	0～19%	改善・見直しを要する

【 1 】 区の入札制度における環境マネジメントシステム導入事業者の評価加点						
担当課		契約課				
アクションの内容		事業者の環境マネジメントシステムの導入を促進するため、総合評価方式による一般競争入札において、導入事業者に評価点を加点します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	総合評価方式一般競争入札における評価点の一つとして、環境マネジメントシステム (IS014001取得又はエコアクション21認証・登録) 導入事業者の加点項目を設定する	A	—	総合評価方式 24件	予定価格3,500万円以上の工事(建築工事は7,000万円以上)及び業務委託契約の入札において、総合評価方式一般競争入札を24件実施した。
	令和4年度 (2022)		A	対象案件の 100%	総合評価方式 44件	予定価格3,500万円以上の工事(建築工事は7,000万円以上)及び業務委託契約の入札において、総合評価方式一般競争入札を44件実施し、導入事業者への加点項目を設定した。

【 2 】 水素社会に向けた普及啓発						
担当課		環境課				
アクションの内容		区民・事業者の水素社会や水素利用技術についての理解が深まるように、普及啓発を推進します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	水素利用技術に関する普及啓発の推進	A	—	燃料電池バス 試乗体験人数 385人	なかのエコフェア2021において燃料電池バス試乗体験を実施し、水素技術の普及啓発を行った。
	令和4年度 (2022)		A	燃料電池バス 試乗体験人数 330人	燃料電池バス 試乗体験人数 約400人	引き続き、エコフェア2022において燃料電池バスの使用体験の実施や水素エネルギーについての体験ブースをもうけ、水素技術の普及啓発を行った。

【 3 】		再生可能エネルギー設備等導入支援				
担当課		環境課				
アクションの内容		再生可能エネルギー等の導入を促進するため、支援策を推進します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	蓄電システム 導入支援の実施	A	-	助成件数 47件	太陽光発電と連動して使用する蓄電システム設置補助事業を予定どおり7月から開始した。
	令和4年度 (2022)		C	助成件数 125件	助成件数 49件	太陽光発電と連動して使用する蓄電システム設置補助事業を昨年に引き続き実施したが、助成件数が目標件数の39%となったためC評価となる。令和5年度は、太陽光発電の助成事業も開始したことから、利用者数が増えると予想している。また、PRについても、拡大し実施していく。

【 4 】		省エネルギー・再生可能エネルギー設備の設置促進				
担当課		住宅課、環境課				
アクションの内容		公営住宅等へのLED照明機器の整備等、省エネルギーに向けた取組を推進し設置促進に向けた普及啓発を行います。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	修繕周期に合わせ、計画的にLED化を推進する	A	-	-	・区営住宅及び福祉住宅の共用部照明のLED化を計画的に進め、すまいのしおりにより省エネ化に関する普及啓発を行った。 ・蓄電システム設置補助金交付事業を開始した。
	令和4年度 (2022)		A	-	-	・区営住宅及び福祉住宅の共用部照明のLED化を計画的に進め、すまいのしおりにより省エネ化に関する普及啓発を引き続き行った。

【 5 】		省エネルギー住宅等の相談・支援体制の充実				
担当課		環境課、関係各課				
アクションの内容		相談者へ省エネルギー対策や各種助成の活用などの提案を行うため、省エネルギー住宅等の相談・支援体制の充実を図ります。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	省エネルギー住宅等の相談・支援体制の充実	A	-	-	環境課が実施する住宅に関する補助金交付事業について、区内小規模事業者団体連絡会で周知するための調整を行った。
	令和4年度 (2022)		A	-	-	環境課が実施する住宅に関する補助金交付事業について、区内小規模事業者団体連絡会で周知した。

【 6 】		カーボン・オフセット(森林整備)の推進				
担当課		環境課				
アクションの内容		脱炭素社会を実現するために、なかの里・まち連携自治体である「群馬県みなかみ町」において、15haの「中野の森」の森林整備を行うことで、区内のイベントや事業活動等で排出されるCO2排出量をオフセット(埋め合わせ)します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績(CO2削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度(2021)	CO2吸収量 153.0トン	A	-	オフセット 72.1トン	予定どおり下刈り等の森林の維持管理を実施した。
	令和4年度(2022)	※平成26～ 令和4年度累計 402.8トン	A	オフセット 72.1トン	オフセット 81.7トン	予定どおり下刈り等の森林の維持管理を実施した。

【 7 】		カーボン・オフセット(J-クレジット購入)の推進				
担当課		環境課				
アクションの内容		脱炭素社会を実現するために、なかの里・まち連携自治体である「福島県喜多方市」から、J-クレジットを購入し、区内のイベントや事業活動等で排出されるCO2排出量をオフセット(埋め合わせ)します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績(CO2削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度(2021)	購入量 年70トン	A	-	オフセット 70トン	清掃車及び資源回収車によるごみと資源収集、運搬で排出されるCO2を70トン購入することで喜多方市の森林整備(間伐)を支援し、オフセット(埋め合わせ)した。
	令和4年度(2022)		A	オフセット 70トン	オフセット 70トン	清掃車及び資源回収車によるごみと資源収集、運搬で排出されるCO2を70トン購入することで喜多方市の森林整備(間伐)を支援し、オフセット(埋め合わせ)した。

【 8 】		建物の断熱化促進				
担当課		環境課				
アクションの内容		区民に対し、建築物の新築・増築等の際、断熱性能の高い建物への選択を促し、省エネルギー住宅の普及を推進するために、建築物の断熱性を向上するための措置を講じたと認められる建築物について、高断熱建築物として認証する制度を実施します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績(CO2削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度(2021)	高断熱建築物として認証する制度を実施	B	-	認証件数 20件	目標認証件数30件に対し、令和3年度認証件数は20件。令和4年度は経過措置分の受付のみとし、高断熱窓・ドア設置補助へ移行した。
	令和4年度(2022)	高断熱窓・ドア設置補助事業の実施	C	助成件数 50件	助成件数 21件	高断熱窓・ドア設置補助へ移行し、助成事業を実施したが、助成件数が目標件数の42%となったためC評価となる。令和5年度は、事業のPRや脱炭素の取組について、普及啓発を拡大し実施していく。

【 9 】 環境形成型のまちづくり						
担当課		まちづくり計画課				
アクションの内容		環境性能の高い建築物への更新等の支援・誘導を行います。省エネルギー住宅の普及や新たな緑の創出など、まち全体で脱炭素化を促進するまちづくりを目指します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	各地区のまちづくりにおける環境形成型のまちづくりの検討	A	-	-	地区計画申出制度により申出予定の地区計画住民原案に、緑化率の最低限度の上乗せやみどりの保全措置の義務化等を盛り込むことを検討した。
	令和4年度 (2022)		A	-	-	提出された地区計画住民原案を受けて、区が決定する地区計画において、建築物の緑化率の最低限度を定めた。

【 10 】 総合的な交通政策の推進						
担当課		交通政策課				
アクションの内容		区の交通政策を総合的に進めるため、交通政策に関する基本的な方針を策定し、脱炭素な移動手段である自転車の活用(シェアサイクルの導入など)、自転車の走行環境づくりなどについて推進、促進します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	交通政策基本方針の策定、シェアサイクル実証実験実施	A	-	-	交通政策基本方針を策定するとともに、シェアサイクルに係る実証実験と自転車の利活用に関するアンケート調査を実施した。
	令和4年度 (2022)		A	区内のサイクルポートを40箇所まで増設する。	区内のサイクルポートを41箇所まで増設した。	令和5年3月末時点でポート数を41箇所まで増設し、年度目標を達成した。

【 11 】		補助第220号線、区画街路第4号線の整備				
担当課		まちづくり事業課				
アクションの内容		補助第220号線、区画街路第4号線の整備を推進することにより、交通基盤を改善し、都市の脱炭素化を目指します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	用地取得の推進	A	-	-	補助第220号線(Ⅰ期区間)67.15㎡及び区画街路第4号線157.38㎡を取得した。
	令和4年度 (2022)		A	-	-	区画街路第4号線235.77㎡を新たに取得した。また、令和3年度に引き続き、これまで取得した用地の一部を西武鉄道に作業ヤードとして貸し出すことで、連続立体交差事業の推進に寄与した。(補助第220号線Ⅰ期区間:295.59㎡、区画街路第4号線:1173.41㎡)

【 12 】		中野駅周辺まちづくりの推進				
担当課		中野駅周辺まちづくり課				
アクションの内容		中野駅周辺まちづくりにおいては、脱炭素社会を見据え、環境負荷の低減やBCD(災害時業務継続地区)構築につながる、施設・機能の整備・誘導を推進します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	脱炭素社会を見据えたまちづくりの推進(中野駅新北口駅前エリアにおける、市街地再開発事業の都市計画決定)	A	-	-	中野駅新北口駅前エリアにおける市街地再開発事業の都市計画手続きに向けて、施行予定者や関係機関等と施設計画等に関する協議・調整を進めた。
	令和4年度 (2022)		A	都市計画決定に向けた最終調整	-	地権者及び施行予定者間の手続きとして、基本協定並びに事業推進協定を締結した。また、法定の説明会開催や都市計画素案から原案、案の検討・調整を段階的に進めた。環境アセスメント手続きについては、評価書案の広告・縦覧、意見書の受付など事業者により着実に進められている。

【 13 】 中野駅周辺の駐車環境の整備						
担当課		中野駅周辺まちづくり課				
アクションの内容		中野駅周辺地区駐車場地域ルールを活用し、地域の需要に見合った駐車施設の整備・誘導を推進することで、地域の交通環境を改善し、脱炭素社会を見据えた環境負荷の低減を図ります。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	脱炭素社会を見据えた駐車環境の整備（駐車場地域ルール運用基準の作成及びルールに基づく駐車施設の整備・誘導）	A	—	—	令和4年3月に、駐車場地域ルールの運用基準を策定した。
	令和4年度 (2022)		B	運用基準の告示、運用開始	—	審査機関と調整し、物流環境改善に向け、実効性のあるマニュアル整備等、運用開始の準備を進めた。

【 14 】 既存施設設備更新(LED照明導入)の促進						
担当課		施設課、関係各課				
アクションの内容		既存施設の設備更新(LED照明の導入)を促進し、消費電力の削減や環境負荷の低減を図ります。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	設備更新時期を迎えた施設への導入促進	A	—	10施設	10施設の更新計画をしていたが、予定どおり更新を完了した。
	令和4年度 (2022)		A	8施設	8施設	8施設の更新計画をしていたが、予定どおり更新を完了した。

【 15 】 区有施設への再生可能エネルギー設備導入の促進						
担当課		施設課、関係各課				
アクションの内容		区有施設に再生可能エネルギー設備(太陽光発電設備・太陽熱利用設備)を導入し、買電量の削減や環境負荷の低減を図ります。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	区有施設における再生可能エネルギー設備の導入	A	—	3施設	3施設の導入計画をしていたが、予定どおり導入を完了した。
	令和4年度 (2022)		—	—	—	4年度の導入計画なし

【 16 】 環境に配慮した庁有車への代替						
担当課		資産管理活用課、関係各課				
アクションの内容		温室効果ガスの排出を削減するために、電気自動車等の環境に配慮した庁有車への代替を推進します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	環境に配慮した庁有車への買換	A	-	1台	庁有車買換基準に基づいた車両の入替にあたり、電気自動車への切替えが可能なものについては電気自動車を購入した。
	令和4年度 (2022)		A	2台	2台	庁有車買換基準に基づいた車両の入替にあたり、電気自動車への切替えが可能なものについては電気自動車を購入した。(経理課、生活衛生課)

【 17 】 中野区新庁舎整備事業						
担当課		新区役所整備課				
アクションの内容		中野区新庁舎が備える環境性能は、省エネルギーや環境負荷の少ない資機材の使用や、室内快適性、景観への配慮など、総合的に環境への配慮を行うことにより、CASBEE(建築環境総合性能評価システム)Sランクの取得を目指します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	実施設計の完了、建設工事	A	-	-	CASBEE Sランクの取得を目指し、環境配慮型官庁施設として太陽光、雨水、井水利用など自然エネルギーを積極的に利用し、ライフサイクルを通じて環境負荷の低減に配慮した実施設計と建設工事着手をした。
	令和4年度 (2022)		A	環境配慮型官庁施設として、CASBEE Sランクを取得する。	-	CASBEE Sランクを取得し、さらに建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)の5つ星評価を受け、ZEB Readyの認証を受けた。

【 18 】 中野区立総合体育館における下水熱利用事業						
担当課		スポーツ振興課				
アクションの内容		温室効果ガス排出量を削減するために、中野水再生センターから中野区立総合体育館へ下水処理水を供給し、体育館の冷暖房用の熱源として活用します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	CO <sub>2</sub> 削減量 85t/年	A	-	約152トン	下水処理水を利用した熱交換器の安定的な稼働を行った。新型コロナウイルス感染症対策で休館・短縮営業をしていた期間があったため、想定を超えたCO <sub>2</sub> 削減量となった。
	令和4年度 (2022)		A	CO <sub>2</sub> 削減量 85t/年	約69トン	下水処理水を利用した熱交換器の安定的な稼働を行った。

【 19 】 中野区環境マネジメントシステムの推進						
担当課		環境課				
アクションの内容		区有施設において環境負荷の低減を図ることを目的とし、エコオフィス活動(紙やエネルギーの使用及び廃棄物の排出削減、グリーン購入の推進)を実施します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績(CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度(2021)	紙やエネルギー使用及び廃棄物の排出削減、グリーン購入などの環境負荷低減につながる取組の促進	A	-	グリーン購入本庁99.5% 庁外92.0%	区有施設全体でエコオフィス活動が推進されている。  新庁舎へ向けたペーパーレス化の取組などにより本庁舎では目標達成となったが、区民向け事業を実施している庁外施設では目標未達成となった。区有施設全体でのエコオフィス活動が進むよう、EMSの仕組みについて見直しを図る
	令和4年度(2022)		B	コピー・プリンタ使用量前年度比10%減	コピー・プリンタ使用量前年度比7.2%減(本庁11.0%減、 庁外1.1%減)	

【 20 】 中野区公共建築物等における木材利用の推進						
担当課		環境課				
アクションの内容		中野区公共建築物における木材利用推進方針に基づき、森林環境譲与税を活用し、公共施設の木質化や木製品の整備を推進します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績(CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度(2021)	公共施設の木質化や木製品の整備	A	-	1.63トン	多摩産材を利用した木製什器等の購入などにより、中野東図書館、令和小学校、子ども・若者支援センター分室の備品等を木質化した。  多摩産材を利用した木製什器等の購入などにより、江古田小学校、塔山小学校、北部すこやかセンター、沼袋区民活動センター、江古田区民活動センターの備品等を木質化した。
	令和4年度(2022)		A	-	1.55トン	

【 21 】 風水害対策情報の提供及び災害対応体制の整備						
担当課		防災危機管理課				
アクションの内容		中野区ハザードマップをはじめ、ホームページや中野区防災YouTube、防災情報メールマガジンなどを通じて、風水害への備えや災害発生時の対応方法など、様々な情報を適切に提供していきます。また、地域防災計画や災害応急対策活動マニュアル(風水害編)の見直しなど、環境の変化に応じた対策を推進します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績(CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度(2021)	・各種計画の整備・修正 ・情報発信体制や災害対応力の強化	A	-	-	区ホームページでの各種災害に関する情報の発信や、中野区防災YouTubeの定期的な更新による普及啓発を実施するとともに、地域防災計画の見直しを行うなどの災害対策を推進した。  区ホームページや防災情報メールマガジンで各種災害に関する情報を発信するとともに、中野区防災Youtubeの定期更新、中野区ハザードマップの配布による普及啓発活動を実施するなど災害対策を推進した。
	令和4年度(2022)		A	-	-	

【 22 】		水害対策の推進				
担当課		道路管理課				
アクションの内容		東京都と協力して河川や調節池を整備するとともに、敷地面積300㎡以上の建築計画に対して雨水流出抑制施設の設置を指導することにより、水害対策を推進します。また、土のうの配布や、消防機関と連携した水防訓練を実施することにより、水害に備えていきます。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	水害対策の推進	A	-	-	神田川:本郷橋上下流。妙正寺川:丸山橋上下流、三谷橋~新昭栄橋、オリーブ橋上流~八幡橋下流。その他:神田川、石神井川及び白子川流域で調節池を連結し、時間最大雨量75mm対応「環七地下広域調節池」整備。
	令和4年度 (2022)		A	-	-	神田川:本郷橋上下流。妙正寺川:オリーブ橋上流~八幡橋下流。その他:神田川、石神井川及び白子川流域で調節池を連結し、時間最大雨量75mm対応「環七地下広域調節池」整備。

【 23 】		高齢者の熱中症予防対策事業				
担当課		地域包括ケア推進課				
アクションの内容		高齢者向けの熱中症予防対策のチラシを作成し、高齢者世帯、高齢者会館等へ配布するとともに、高齢者会館等を「涼み処」として猛暑避難場所を設置し、熱中症対策の講演・講座等の催しなどによる普及啓発を推進します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	猛暑避難場所利用者数 23,000人	B	-	利用者数 17,269人	新型コロナウイルスの感染者増、緊急事態宣言により、事業の中止や変更をしたため、猛暑避難場所への利用者数が減少した。
	令和4年度 (2022)		A	20,000人	利用者数 22,294人	外出制限の解除や、猛暑避難場所を設置し、講演会等の呼び込み事業を行うことで、普段 高齢者会館等の区有施設を利用しない人の利用を促すことができた。

【 24 】		熱中症予防に対する普及啓発				
担当課		保健予防課				
アクションの内容		区民に対してホームページ等により熱中症予防の普及啓発を行います。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	ホームページ等による熱中症予防の普及啓発	A	-	-	より効果的な熱中症予防を図るため、熱中症が急増する前の早い時期からホームページ等で普及啓発を行った。
	令和4年度 (2022)		A	-	区報・HPの掲載(年1回)、防犯パトロールでの情報発信	より効果的な熱中症予防を図るため、ホームページで普及啓発を行うとともに、防犯パトロールと協力して情報発信を行った。

【 25 】		感染症予防に係る普及啓発				
担当課		保健予防課				
アクションの内容		区民や施設などに対して、手指消毒をはじめとする感染症予防策の啓発を行うとともに、感染症発生時に該当施設等に対する助言・指導を行います。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	施設別の感染予防対策指導 (高齢者施設及び子ども施設)	A	-	-	施設などで感染症の集団発生が確認された際、関係機関と連携して感染症対策指導や対応を行った。また、感染症対策実施指導として保育施設に研修を実施した。
	令和4年度 (2022)		A	-	感染症対策指導と、高齢者施設への研修を実施した。	施設などで感染症の集団発生が確認された際、関係機関と連携して感染症対策指導や対応を行った。また、高齢者施設に対して、感染症予防・対応力向上研修を実施した。

【 26 】		関係機関との連携による感染症対策の資質向上				
担当課		保健予防課				
アクションの内容		医療関係団体などの関係機関、地域の専門家と連携し感染症対策の資質向上を図るとともに、地域感染症ネットワークを構築します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	地域感染症対策、ネットワークの検討	A	-	-	新型コロナウイルス感染症の検査及び健康観察を地域医療機関で実施できるよう、地区医師会の担当理事との情報共有の機会を設けた。
	令和4年度 (2022)		A	-	地区医師会との情報共有の会議を実施した。	新型コロナウイルス感染症の検査及び健康観察を地域医療機関で実施できるよう、地区医師会の担当理事との情報共有の機会を設けた。

【 27 】		自動回収機によるペットボトル回収の促進				
担当課		ごみゼロ推進課				
アクションの内容		自動回収機による効率的な回収により、ペットボトルの回収で発生するエネルギー消費やCO <sub>2</sub> 発生量を減らしていきます。エネルギー消費やCO <sub>2</sub> 発生量を抑えながら資源回収量を増やすため、自動回収機によるペットボトル回収の割合を増やします。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	自動回収機設置18台 (自動回収機による回収量の占める割合13%)	C	-	設置16台 (新規設置無し) 回収割合8%	新型コロナ感染症対策のため、スーパー等への設置依頼をすることができず、設置台数は前年度と同数で、回収割合も前年度(8.5%)とほぼ同じであった。
	令和4年度 (2022)		C	新規設置1台 (回収割合10%)	設置16台 (新規設置無し) 回収割合9%	新型コロナ感染症対策のため、スーパー等への設置依頼をすることができず、設置台数は前年度と同数で、回収割合も前年度(8.6%)とほぼ同じであった。新型コロナ感染症が落ち着いてきたことから、今後は積極的に事業者へ出向いて設置台数を増やすとともに、回収キャンペーンを行い回収量の増加を図る。

【 28 】		食品ロスの削減				
担当課		ごみゼロ推進課				
アクションの内容		食品ロス削減の意識が区民・事業者に広く醸成され、未利用食品の活用や燃やすごみの減量へつながるよう、大学・事業者等と連携し、食材を無駄にしないレシピによる料理教室や食品ロス削減協力店登録事業、フードドライブ事業等を実施します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	「(仮称)中野区食品ロス削減推進計画」の策定に向けた情報収集、検討及び策定	A	-	-	大学連携による料理教室のほか、食品ロス削減協力店登録事業、フードドライブ事業等を推進した。また、予定している食品ロス削減推進計画の策定に向け、情報収集等を行った。
	令和4年度 (2022)		A	令和5年3月 計画策定	-	事業実績等を参考に、令和5年3月に食品ロス削減推進計画を策定した。

【 29 】		集団回収の支援				
担当課		ごみゼロ推進課				
アクションの内容		区内の町会・自治会による古紙等の集団回収に対して、報奨金の支給や標識旗等の支給、回収用コンテナの貸出等により支援していきます。また、区のホームページ等により情報提供やPRを行います。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	区内全域の古紙が区民の力で適正に回収され、資源化されている	A	-	回収量 12,311トン	集団回収の実施に向け、新設される集合住宅に対する情報提供を定期的に行った。
	令和4年度 (2022)		A	区内全域実施	回収量 11,861トン	古紙発生量が減っている中で、一定の回収量を保っている

【 30 】		プラスチック製容器包装回収の促進				
担当課		清掃事務所				
アクションの内容		適切な分別排出の普及啓発を行うとともに、プラスチック製容器包装を回収し、容器包装リサイクル法のルートで、適正に資源化を促進します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	容器包装プラスチックの回収	A	-	回収量 2,567トン	計画量2,652トンに対して、回収量は2,567トン(96.8%)であった。
	令和4年度 (2022)		A	回収量 2,682トン	回収量 2,489トン	計画量2,682トンに対して、回収量は2,489トン(92.8%)であった。

【 31 】 適正排出等に関する指導・相談・助言					
担当課		ごみゼロ推進課、清掃事務所			
アクションの内容		ルールに沿った適正な排出になるよう、区民・事業者に対して、集積所の改善や分別排出等の指導・相談・助言を行っていきます。また、事業用大規模建築物への立入調査を実施し、廃棄物の減量と再利用の推進に関する指導及び助言を行います。			
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容
ステップ1	令和3年度 (2021)	立入調査の実施	-	立入調査件数 32件	新型コロナウイルス感染拡大防止対策が行われる中、立入調査予定40件に対して、32件の事業者に対して立入調査を実施した。
	令和4年度 (2022)		立入調査件数 60件	立入調査件数 58件	新型コロナウイルス感染拡大防止対策が行われる中でもほぼ計画どおり立入調査を実施し、改善が必要な事項の指摘を行った。

【 32 】 景観まちづくりの推進					
担当課		都市計画課			
アクションの内容		良好な住環境の構築に向けて、中野区の個性となる魅力やゆとりある空間を創出し、地域に根差した歴史的・文化的景観の保全・活用を図るなど、景観まちづくりを進めます。			
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容
ステップ1	令和3年度 (2021)	景観方針の策定、景観計画の検討	-	-	景観まちづくりの実践に向けた検討の第一歩として中野区景観方針を令和4年6月に定めることとしており、令和3年度は方針の内容について検討を深め、年度末に方針案をとりまとめた。
	令和4年度 (2022)		景観方針の策定、景観計画の検討	-	中野区景観方針を令和4年6月に定めた。また、景観計画の検討に着手した。

【 33 】 美化清掃活動の推進					
担当課		道路管理課			
アクションの内容		町会、商店会、たばこ販売者団体、学校や企業等との連携による美化清掃活動を推進します。			
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容
ステップ1	令和3年度 (2021)	美化清掃活動の実施	-	実施回数 5回	新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小したが、新東京たばこ商業協同組合中野支部との美化清掃活動を5回実施した(当初開催予定は10回だった)。
	令和4年度 (2022)		実施回数 10回	実施回数 8回	新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小したが、新東京たばこ商業協同組合中野支部との美化清掃活動を8回実施した。(当初開催予定は10回だった)。

【 34 】		無電柱化の推進				
担当課		道路建設課				
アクションの内容		災害時の電柱倒壊リスクの排除や電線類の断線等による被害軽減、まちの景観向上などを目的として、中野区無電柱化推進計画に基づき無電柱化を推進します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	弥生町三丁目周辺地区避難道路2号工事等	A	-	-	中野区無電柱化推進計画に基づき、無電柱化を先行する区道では、電線共同溝本体工事を進めた。
	令和4年度 (2022)		A	無電柱化優先整備路線の進捗率 17.5%	無電柱化優先整備路線の進捗率 17.5%	中野区無電柱化推進計画に基づき、無電柱化を先行する区道(弥生町三丁目周辺地区避難道路2号等)では、電線共同溝本体工事を進めた。

【 35 】		空き家対策の推進				
担当課		住宅課、環境課				
アクションの内容		民間事業者等との連携により空き家情報を把握し、一元的に情報を集約・管理する体制の構築や、空き家の適正な維持管理及び、空き家の利活用に係る相談体制を推進します。また、周囲に危険が及んでいる老朽空き家の除却等への誘導について、関連部署と連携し、取組みます。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	空き家の適正な維持管理及び利活用に係る取組の推進	A	-	-	民間団体と連携し、法律問題、不動産活用、建物の改修や建替等の専門的な内容に対応可能な空き家相談窓口を開設した。関連部署と連携し、空き家の情報共有及び適正管理に向けた誘導を行った。
	令和4年度 (2022)		A	-	-	民間団体と連携し、専門的な内容に対応可能な空き家相談窓口の運営と周知、セミナー等で啓発を行った。関連部署との情報共有を進め、連携体制を確認し、適正管理に向けた誘導を行った。

【 36 】		分譲マンションの適正管理				
担当課		住宅課				
アクションの内容		管理不全等の早期予防の観点から、分譲マンションの適正管理に関する意識の啓発を図るとともに、管理状況に問題のある分譲マンションについて、管理組合へアプローチし、改修や適切な管理の確保に関して支援を行います。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	マンションの適正管理に係る施策の推進	A	-	-	届出により把握したマンションの管理状況に応じ、管理組合等に対する助言やマンションアドバイザー派遣制度等の情報提供を行った。
	令和4年度 (2022)		A	-	-	届出により把握したマンションの管理状況に応じ、管理組合等に対する助言やマンションアドバイザー派遣制度等の情報提供を行った。

【 37 】 建設工事等における騒音・振動対策						
担当課		環境課				
アクションの内容		建設工事や工場等に係る届出や認可申請について受付・審査・検査等を行います。また、近隣住民から寄せられる苦情や相談を受け、騒音・振動等の発生者に対しその対策に係る指導を進めます。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	建設工事、工場等に係る規制、指導等の実施	A	-	再資源化届843件 騒音・振動届407件	工場の認可申請はなかったが、建設資材の再資源化や騒音規制法・振動規制法に関する各種届出を受け、工事作業等における騒音・振動等の苦情・相談に対し、現場調査を行い、適切な指導を行った。
	令和4年度 (2022)		A	相談・苦情の年度内完結90%以上	相談・苦情受付314件中、287件年度内完結、91%	建設資材の再資源化や騒音規制法・振動規制法に関する各種届出を受け、工事作業等における騒音・振動等の苦情・相談に対し、現場調査等を行い、適切な指導を行った。

【 38 】 建設工事におけるアスベスト対策						
担当課		環境課				
アクションの内容		飛散性アスベスト建材が使用された建築物の解体や改修工事を行う際の届出や作業内容の周知などを義務づけます。また、事前の立ち入り検査の実施や、作業完了後に大気測定結果の提出を求めるなどにより、適正な作業の実施を指導します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	アスベスト飛散防止に係る立入検査と事業者指導の推進	A	-	立入検査12件	大気汚染防止法の改正に伴い拡大された「規制対象建材」を区ホームページ等で周知し、適切に届出させた。建材除去前に実施する立入検査については12件実施し、いずれも適正な対応を行っていることを確認した。
	令和4年度 (2022)		A	事前調査結果報告中、立入検査6%以上実施	事前調査結果立入検査142件、7%	大気汚染防止法の改正に伴い、報告が義務化された「石綿事前調査結果報告」2,032件中、142件立入検査(約7%)を実施し、事業者がアスベスト除去に対する適正な対応を行っていることを確認した。

【 39 】 ごみ屋敷等の対策						
担当課		環境課				
アクションの内容		区内の私有地等における物品の蓄積(いわゆる「ごみ屋敷」)等に関する苦情や相談を受け、実態調査や原因者への指導等を行うことにより、生活環境の改善を進めます。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	不良な生活環境の解消に関する調査、指導等の実施	A	—	—	中野区物品の蓄積等による不良な生活環境の解消に関する条例に係る苦情・相談を受け、対応を行った。
	令和4年度 (2022)		A	相談に対する対応100%	相談に対する対応16件、100%	中野区物品の蓄積等による不良な生活環境の解消に関する条例に係る相談を受け、調査、指導等の対応を行った。

【 40 】 自動車交通の騒音と振動に関する調査						
担当課		環境課				
アクションの内容		区内の幹線道路等における自動車騒音・振動・交通量の調査の実施と調査結果について公表します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	自動車騒音等調査実施による測定値把握と区民への情報提供の実施	A	—	調査道路数 6道路	6道路において、自動車騒音・振動・交通量の調査を実施し、結果を区ホームページに掲載した。
	令和4年度 (2022)		A	調査道路数 6道路実施	調査道路数 6道路、8調査地点	6道路、8調査地点において、自動車騒音・振動・交通量の調査を実施し、測定値及び経年比較を行い、調査結果を区ホームページに掲載した。

【 41 】 河川水質調査						
担当課		環境課				
アクションの内容		神田川及び妙正寺川における河川水質調査の実施と調査結果について公表します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	河川水質調査実施による測定値把握と区民への情報提供の実施	A	—	水質調査回数 4回	神田川、妙正寺川各2箇所において、年4回の水質調査を実施し、結果を区ホームページに掲載した。
	令和4年度 (2022)		A	水質調査 2箇所、年4回 実施	調査河川数 2箇所、年4回	神田川、妙正寺川各2箇所において、年4回の水質調査を実施し、測定値及び経年比較を行い、調査結果を区ホームページに掲載した。

【 42 】 光化学スモッグ発生連絡体制の整備						
担当課		環境課				
アクションの内容		光化学スモッグ注意報が発令された際に、被害を防止するために、情報を速やかに区民等へ周知します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	光化学スモッグ注意報発令時通報連絡の実施	A	-	-	注意報は3回発令され、防災無線等により、速やかに区民や関係所管に対し注意喚起を行った。
	令和4年度 (2022)		A	注意報発令時の通報連絡100%実施	通報連絡7回100%	注意報は7回発令されたが、防災無線等により、速やかに区民や関係所管に対し注意喚起を行った。

【 43 】 緑化計画制度						
担当課		環境課				
アクションの内容		「中野区みどりの保護と育成に関する条例」に基づく緑化計画制度により、一定規模以上の敷地に建築物を建てる場合は緑化計画書を提出し、認定を受ける必要があります。これにより区内において一定量以上のみどりを確保します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	緑化計画書の適切な認定	A	-	緑化計画書提出件数154件	提出された緑化計画書を確認し、みどりの確保を行った。
	令和4年度 (2022)		A	-	緑化計画書提出件数178件	提出された緑化計画書を確認し、みどりの確保を行った。

【 44 】 公園の適正な維持管理						
担当課		公園課				
アクションの内容		区立公園について適切な管理を行い、みどりを維持・保全します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	樹木の適切な管理とみどりの維持・保全	A	-	-	区立公園の樹木について、剪定等の維持管理を適正に行った。また、不健全木を伐採し、適切な場所に補植を行った。
	令和4年度 (2022)		A	-	-	区立公園の樹木について、剪定等の維持管理を適正に行った。また、不健全木を伐採し、適切な場所に補植を行った。

【 45 】 小中学校における緑の維持・保全						
担当課		子ども教育施設課				
アクションの内容		身近な緑を確保していくために、区立小中学校において樹木等の維持・保全により緑の維持・保全を継続します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	区立小中学校における樹木等剪定の適正な実施	A	-	-	樹木等の保全維持に係る予算を確保し、樹木の生育状況に合わせた剪定等を行った。
	令和4年度 (2022)		A	小・中学校半数校ずつ剪定	小・中学校半数校ずつ剪定	樹木等の保全維持に係る予算を確保し、予定通り樹木の生育状況に合わせた剪定等を行った。さらに放置しておく危険だと思われる、緊急的ケースにも対処した。

【 46 】 保護指定樹木等助成制度						
担当課		環境課				
アクションの内容		一定の基準を満たす樹木・樹林・生け垣を保護指定し、これらの維持管理に要する費用の一部を助成します。これにより地域にゆかりのある、また、区内においても貴重なみどりを保全します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	樹木・樹林・生け垣の保護指定及び維持管理費用の助成	A	-	新規登録数 樹木3件 生け垣助成3件	累積<指定>樹木269本、樹林29か所81,364㎡、生け垣84か所2,242m <助成>樹木168本、樹林24か所73,145㎡、生け垣56か所1,677m
	令和4年度 (2022)		A	-	新規登録数 樹木9件 生け垣助成2件	累積<指定>樹木266本、樹林29か所80,892㎡、生け垣85か所2,346m <助成>樹木171本、樹林20か所65,385㎡、生け垣64か所1,842m

【 47 】 生きもの調査の実施						
担当課		環境課、関係各課				
アクションの内容		区内の生きものの実態を把握するため、関係部署や区民等との連携を図り、貴重な自然の中に息づく動植物等に関する調査の実施について検討を進めます。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	動植物等に関する調査の検討・実施	A	-	参加者数 2,841人	「なかのエコチャレンジ」で生きもの調査を実施し、小中学生の身近な生物への関心を高めるとともに、当該調査に保護者が協力する仕組みを取入れることで生物多様性に関する関心を高めた。
	令和4年度 (2022)		D	-	未実施	令和4年度は、「なかのエコチャレンジ」で生き物調査は未実施のため評価Dとした。生物多様性の観点から、正確な把握に向けた中野区内の調査を検討していく。

【 48 】		区立小中学校におけるビオトープの整備				
担当課		子ども教育施設課				
アクションの内容		ビオトープを保有する区立小中学校において、生きものが生育・生息できるように維持・保全を継続します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	新校舎における環境整備及び既存校舎の環境維持・保全	A	-	中野第一小学校、啓明小学校で実施	新校舎に整備し、環境学習に役立てている。また、啓明小学校では生きものがより良い環境で生育・生息できるように改修整備した。
	令和4年度 (2022)		A	令和小学校(新校舎)に環境を整備	令和小学校(新校舎)に環境を整備	令和小学校(新校舎)に環境を整備し、環境学習に役立てている。また、既存の環境について維持・保全を行った。

【 49 】		外来生物・野生生物対策				
担当課		生活衛生課				
アクションの内容		衛生的で安心な生活環境が守られるまちを実現するために、外来生物・野生生物の防除及び対応方法等の普及啓発を実施していくとともに、必要に応じて駆除を行います。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	外来生物・野生生物の防除、駆除及び対応方法等の普及啓発の実施	A	-	駆除件数16件	区報・ホームページで防除や対応方法等の普及啓発活動を行い、窓口・電話等による相談に対応した。
	令和4年度 (2022)		A	-	区報掲載1回 駆除件数12件	区報・ホームページで防除や対応方法等の普及啓発活動を行い、窓口・電話等による相談に対応した。

【 50 】		環境保全に係る情報の提供				
担当課		環境課				
アクションの内容		区民や事業者が適切な環境に関する情報を収集できるようにするために、ホームページや区報、SNS、環境イベント等を用いて環境に関連する情報を提供します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	環境保全にかかる情報の提供	A	-	-	区報やエコフェア、パネル展等を通じ情報提供を行った。また、地球温暖化防止出前講座の実施を通じ、区民等と直接交流することにより、環境に関する普及啓発を促進した。
	令和4年度 (2022)		A	エコフェアの来場者数3,000人	エコフェアの来場者数約3,100人	区報やエコフェア、パネル展等を通じ情報提供を行った。また、地球温暖化防止出前講座の実施を通じ、区民等と直接交流することにより、環境に関する普及啓発を促進した。

【 51 】 連携・協働に向けたネットワークづくり						
担当課		環境課				
アクションの内容		環境に関する地域団体等への支援・交流・連携促進等を推進します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	環境に関する地域団体等への支援・交流・連携促進等	A	-	なかのエコフェア参加31団体	「なかのエコフェア」の実施にあたり、多様な団体が協働する啓発事業を通じ、団体同士の交流促進を図った。
	令和4年度 (2022)		A	なかのエコフェア参加31団体	なかのエコフェア参加33団体	「なかのエコフェア」の実施にあたり、多様な団体が協働する啓発事業を通じ、団体同士の交流促進を図った。

【 52 】 ごみ減量・資源循環の普及啓発						
担当課		ごみゼロ推進課				
アクションの内容		中野区ごみ減量キャラクター「ごみのん」を活用して、ごみ減量出前講座や区報、区ホームページ、ごみ分別アプリ、広報誌の配布等により、資源とごみの分別方法について普及啓発を行います。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	ごみ分別アプリへのAI活用等の拡充、リーフレット等による区民向け広報の充実	A	-	-	新型コロナウイルスの影響はあったが、可能な限りごみ減量出前講座やパネル展、なかのエコフェア等の場で啓発を行ったほか、区報、区ホームページ、ごみ分別アプリ、広報誌等での周知に努め、啓発効果を高めた。
	令和4年度 (2022)		A	令和5年2月チャットボット運用開始	-	令和3年度同様、普及啓発を実施した。また、令和5年2月からごみ分別チャットボットの運用を開始した。

【 53 】 なかの☆もったいない ぱくぱくパートナーズの推進						
担当課		ごみゼロ推進課				
アクションの内容		食品ロスの削減に取り組む事業者を「なかの☆もったいない ぱくぱくパートナーズ」として認定し、連携して食品ロス削減に取り組めます。登録店は区ホームページ等で周知します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	食品ロス削減に向けた事業者との連携強化	A	-	新規登録店舗56店	登録店にアンケートを実施し、事業展開の検討材料とした。区内新規事業者へ登録勧奨を行い、年度末の登録数は240店に増加し、区ホームページ等で周知した。
	令和4年度 (2022)		A	新規登録店舗60店	新規登録店舗68店	区内新規事業者へ登録勧奨を行った。年度末の登録数は303店に増加し、区ホームページ等で周知した。

【 54 】 緑化推進の普及啓発						
担当課		環境課				
アクションの内容		区民の緑化への理解・関心を高めるため、花と緑の祭典やみどりの教室、みどりの貢献賞等を開催し、体験及び学習を通じて身近にみどりと接する機会を創出します。これによりみどりに対する意識の醸成を図ります。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	花と緑の祭典やみどりの教室、みどりの貢献賞等を実施	A	-	花と緑の祭典 来場者数 1,000人	花と緑の祭典は、新型コロナウイルスにより春は中止、秋は規模を縮小して実施。苗木配布は、3回実施(計1,000本)。みどりの教室は、教材配布方式で実施(50セット)。みどりの貢献賞は2名授与した。
	令和4年度 (2022)		A	花と緑の祭典 来場者数 3,000人	花と緑の祭典 来場者数 5,742人	花と緑の祭典は、新型コロナウイルスにより春は中止、秋は規模を縮小して実施。苗木配布は、2回実施(計1,000本)。みどりの教室は、教材配布方式で実施(50セット)。みどりの貢献賞は3名授与した。

【 55 】 町会・自治会公益活動推進助成						
担当課		地域活動推進課				
アクションの内容		現在行っている「町会・自治会公益活動推進助成」により、町会・自治会が行う環境保全活動などの取組みに対して、助成金を交付して支援を行います。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	「町会・自治会公益活動推進助成」による、町会・自治会が行う環境美化活動等への支援	A	-	助成金交付 107町会	「町会・自治会公益活動推進助成」により、資源回収等の環境保全・美化活動を行った107町会に対して交付した。
	令和4年度 (2022)		A	107町会	助成金交付 105町会	「町会・自治会公益活動推進助成」により、資源回収等の環境保全・美化活動を行った105町会に対して交付した。

【 56 】 なかのエコポイント制度						
担当課		環境課				
アクションの内容		区民に対し、区の環境イベント等への参加を促し、環境に配慮した行動を促進するために、区が主催する温暖化対策のイベント参加や資源リサイクルなど、環境に配慮した様々な行動を対象に区内共通商品券等と交換できるポイントを付与するとともに、区報・区ホームページ・リーフレットの発行等による参加促進を図ります。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	ポイント付与対象事業の充実	A	-	申請件数 177件	地球温暖化防止出前講座や啓発イベントの実施により啓発の機会を増やしたことで177件の申請があり、前年度より増加した。
	令和4年度 (2022)		A	-	申請件数 143件	地球温暖化防止出前講座や啓発イベントの実施時に啓発活動を増やしたが、143件の申請があった。

【 57 】 なかのエコフェアの開催						
担当課		環境課				
アクションの内容		なかの里・まち連携自治体等との協働により、中野区内では体験し得ない森林学習や自然体験、区民団体及び産学官連携による多様な出展団体の環境保全への取組の紹介を通じ、区民の自発的な環境保全行動が定着するよう、意識啓発を促進します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	エコフェアを開催する	A	-	来場者数 2,791人	区内団体や事業者・学校・公共機関等が一丸となり、環境学習や木工体験、水素エネルギーや再エネなどのエネルギー活用等に関する啓発を実施した。
	令和4年度 (2022)		A	来場者数 3,000人	来場者数 約3,100人	区内団体や事業者・学校・公共機関等が一丸となり、環境学習や木工体験、水素エネルギーや再エネなどのエネルギー活用等に関する啓発を実施した。

【 58 】 中野区地域環境アドバイザーの派遣						
担当課		環境課				
アクションの内容		地域における環境保全活動や地球温暖化防止活動を支援している中野区地域環境アドバイザーを学校や町会・自治会などで行う環境講座や学習会などに派遣します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	推進	A	-	派遣実績 2件	<派遣>児童向け緑化啓発1件、大人向け環境学習1件<連携強化>アドバイザーと区の意見交換会を実施、「エコフェア」においてアドバイザーブース及びステージ啓発を実施
	令和4年度 (2022)	中野区地域環境アドバイザーの派遣事業の検証	D	-	派遣実績 0件	派遣の要望がなかったためD評価とした、中野区地域環境アドバイザーの派遣事業の検証を行いながら、環境や地球温暖化防止などの普及啓発活動について検討していく

【 59 】 小中学校におけるESD(持続可能な社会の担い手を育てる教育)の推進						
担当課		指導室				
アクションの内容		学習指導要領で重視されているESD(持続可能な社会の担い手を育てる教育)の理念を基盤として、区立小中学校でSDGsを意識した環境学習を推進します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	実施校 令和3・4年度 30校	A	-	全小・中学校 で実施	全小・中学校でESD推進を教育課程に掲げ教育活動に取り組んだ。令和元年～3年度学校教育向上事業研究指定校の中野本郷小学校でESDに関する3年間の研究成果を全小・中学校に発表した。
	令和4年度 (2022)		A	実施校 全小・中学校 30校	全小・中学校 で実施	全小・中学校でESD推進を教育課程に掲げ教育活動に取り組んだ。令和3年～4年度学校教育向上事業研究指定校の第七中学校でESDに関する2年間の研究成果を全小・中学校に発表した。

【 60 】		小中学校における緑の環境教育の推進				
担当課		子ども教育施設課				
アクションの内容		小中学校における緑の環境教育を推進するため、区立小中学校において緑のカーテンの維持・保全を継続します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	実施校 令和3・4年度 30校	A	-	全小・中学校 で実施	緑の環境教育を推進するための予算を確保し、各小中学校ごとに緑のカーテンの維持・保全を行った。
	令和4年度 (2022)		A	令和小学校 (新校舎)に緑 のカーテンを 整備	令和小学校 (新校舎)に緑 のカーテンを 整備	令和小学校(新校舎)に緑のカーテンを整備し、緑の環境教育に役立っている。

【 61 】		小中学校におけるなかのエコチャレンジ活用促進				
担当課		環境課				
アクションの内容		日常的な環境配慮の取組項目などを紹介した環境学習教材「なかのエコチャレンジ」を作成し、教材中のシートによる省エネルギーチェックを小中学校の授業や家庭学習に活用してもらい、子どもを通して家庭における省エネルギー行動を促進します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	省エネルギー チェックを小 中学校の授業 や家庭学習に 活用してもら い、子どもを 通して家庭に おける省エネ ルギー行動を 促進	A	-	参加人数 5,980人	参加人数の増加に伴い、CO <sub>2</sub> 削減量も増加した。
	令和4年度 (2022)		A	参加人数 6,000人	参加人数 5,926人	参加人数の増加に伴い、CO <sub>2</sub> 削減量も増加した。

【 62 】		省エネルギーや森林学習等の環境講座等の開催				
担当課		環境課				
アクションの内容		子どもエコ講座、環境月間や省エネルギー月間のパネル展、環境交流ツアー、省エネアドバイスなどを開催し、環境に配慮した行動を推進します。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	子どもエコ講 座、環境月間 や省エネ ルギー月間の パネル展、環 境交流ツアー 、省エネアド バイスなどを 開催	A	-	-	子どもエコ講座やパネル展等でエネルギーの有効活用及び省エネの啓発をした。なかのエコフェアで東京都環境局と協働で「みんなでいっしょに自然の電気」を周知し、再エネ電力への切替支援事業を促進した。
	令和4年度 (2022)		A	子どもエコ講座 参加者数 40人	子どもエコ講座 参加者数 36人	子どもエコ講座やパネル展等でエネルギーの有効活用及び省エネの啓発をした。なかのエコフェアで東京都環境局と協働で「みんなでいっしょに自然の電気」を周知し、再エネ電力への切替支援事業を促進した。

【 63 】		ごみ減量・資源循環学習の推進				
担当課		ごみゼロ推進課、清掃事務所				
アクションの内容		小学校や保育園、町会等に出向いて、次世代を担う子どもたちや区民を対象として環境学習の機会を提供し、ごみの減量やリサイクル意識の醸成を図ります。				
取組内容		進捗評価	年度目標	主な実績 (CO <sub>2</sub> 削減)	進捗評価の理由・内容	
ステップ1	令和3年度 (2021)	スケルトン清掃車等を活用した出前講座や環境学習等の充実	A	-	環境学習 17回 出前講座 20回	清掃事務所による環境学習(うちスケルトン清掃車活用は16回)と、ごみゼロ推進課の出前講座により、ごみの減量やリサイクル意識の醸成を図った。
	令和4年度 (2022)		A	環境学習 22回 出前講座 20回	環境学習 22回 出前講座 20回	清掃事務所による環境学習(保育園17回、小学校5回、その他5回。うちスケルトン清掃車活用は27回)と、ごみゼロ推進課の出前講座により、ごみの減量やリサイクル意識の醸成を図った。